

【研究課題名】

断続的な不眠に対するレンボレキサント錠とゾルピデム錠の頓用投与における有効性・安全性に関する後方視的研究

【研究責任者（職名）】

高村 誠人（薬剤師）

【研究デザイン】

単施設後ろ向き観察研究

【調査対象期間】

2021年1月～2024年12月

【研究目的と意義】

不眠症の中には毎晩ではなく週数回の不眠を発現する入眠困難型が存在します。この場合、不眠症治療に対する連日の薬物投与では過量投与となる可能性があり、不眠時のみ服用する頓用投与が選択されることがあります。レンボレキサントおよびゾルピデムはともに短時間作用型の入眠促進薬ですが、頓用投与における有効性・安全性比較の実臨床データは乏しいです。

本研究は、診療録（電子カルテ）データを用いてレンボレキサント錠とゾルピデム錠の頓用投与の臨床的有用性および安全性を比較し、断続的な不眠における薬剤選択の参考とすることを目的とします。

【対象となる患者さん】

2021年1月～2024年12月の間に、レンボレキサントまたはゾルピデムが入眠障害に対して頓用投与された方を対象とします。

【利用する情報】

年齢、性別、身長、体重、既往歴、現病歴、採血データ、バイタルサイン、睡眠状況、活動状況、併用薬、急性疾患（感染症、疼痛など）、手術歴、薬剤の用法用量、有害事象（転倒、骨折、ふらつき、過鎮静など）、せん妄の有無など。

※診療録から収集したデータについては患者個人が特定できないように連結不可能な状態で管理します。

【研究方法】

診療録を用いて情報収集を行い、レンボレキサントとゾルピデムの頓用投与の有効性・安全性についてデータ解析を行います。

【問い合わせ先】

研究代表者

氏名：高村 誠人（薬剤師） 市立釧路総合病院

住所：釧路市春湖台 1-12

電話：0154-41-6121（内線：2001）